

利用者懇談会報告(平成30年度3月) 【柳沢公民館】

開催日時	2019年3月3日(日)10時~12時
会場	視聴覚室
参加者数	利用団体:79団体 利用者:84人(公民館運営審議会委員2人含む) 職員:5人 合計:89人
今回のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・よりよい館運営を行うため、利用者と公民館で、また、利用者同士で意見交換を行い、相互理解を深める。 ・利用者の交流の場とする。 ・平成31年度の団体連絡箱の使用について、調整を行う。
次第(形態)	1. 新町地域包括支援センターからの案内 2. 施設利用に関し 3. 公民館事業に関して 4. 参加者の交流の時間(活動曜日ごとのグループに分かれて活動紹介) 5. 団体連絡箱の利用について
公民館側からの連絡事項等	<p>1. 施設利用に関して</p> <p>①来館者用駐車場の利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年10月から、公民館利用者以外の駐車を抑止するため、公民館が渡す駐車証を車のフロントガラスに置いていただく取り扱いをしている。 ②4月27日(土)~5月6日(月)の連休期間中の利用について ・公民館は開館しているが、土・日曜日、国民の祝日、休日にあたるため、印刷機や備品等の利用申込受付等の窓口業務は行わない。 ・11月のロビー申請受付は、5月7日(火)午前9時から受け付ける。 <p>2. 公民館事業に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民館利用団体の発表の場として、実行委員会方式で実施するロビーコンサートとヤギフェスがある。ぜひ参加を。
主な意見等	<p>【来館者用駐車場の利用について】</p> <p>利) 駐車証を来館時に受け取り、退館時に返すためには、2往復する必要があり、負担である。改善してほしい。</p> <p>利) 2往復しなくてもすむように、継続的に使用できる駐車証を交付してほしい。</p>

	<p>利) 駐車場を出た後、利用者が破棄できる1回限りの駐車券を発行する施設がある。この場合、1往復で済む。使い捨ての駐車券に変更できないか。</p> <p>公) 公民館利用以外の駐車を抑止するために、駐車証をフロントガラスに置いていただく取り扱いは今後も継続したい。駐車する権利を得るためのものではないので、常時使用できる駐車証を交付することはできない。利用者の負担軽減のため、返却不要の駐車証への変更を検討したい。</p> <p>【部屋の申し込みについて】</p> <p>利) 公民館で活動する団体が増えると、抽選申込の倍率が上がり、部屋を確保しにくくなり、活動が継続できなくなる。活動場所の確保について、支援してほしい。</p> <p>※上記の発言に対し、参加者から次のような発言があった。</p> <p>利) 私たちは、公民館の部屋を確保できない時は、活動を休止している。</p> <p>利) 私たちは、活動場所として、公民館以外に市民交流施設なども利用することで、定期的に活動できるようにしている。</p> <p>利) 私たちも、複数の施設を利用することで定期的な活動を可能にしている。活動日の1~2か月前には使用する施設が決まるので、役員が書面で会員に周知している。</p> <p>公) 複数の団体が、一つの部屋を一緒に使用したり、同一区分内で活動時間をずらして使用したりする「特例使用」という方法がある。</p> <p>※特例使用をしている2組の団体が、自分たちは、どのような形で共用しているかを紹介。</p> <p>【公民館運営審議会について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利) 公民館だよりで、公民館運営審議会の活動について報告してほしい。 公) 公民館だよりでは、隔月で「公運審はいま」というコーナーで、簡単な報告はしている。
団体の交流の時間	活動曜日ごとのグループに分かれて、活動紹介。

<p>団体連絡箱について</p>	<p>【公民館からの連絡事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷物の保管等を目的に、1ヵ月を限度として、一時的に使用できる小ロッカーを設けた。 <p>【団体連絡箱の調整】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大ロッカーについては、申請数が使用可能数を超えたため、調整が必要になった。欠席団体と大ロッカーへの移動希望を取り下げた団体があり、抽選を行うことなく、出席団体は、大ロッカーを使用できることとなった。 ・小ロッカー、開き戸、引き出しについては、使用場所の移動を希望する団体がなかったため、平成30年度と同じ場所を使用することとなった。
<p>印象、反省点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車証の取り扱いと活動場所の確保について、参加者の間で意見交換がされた点がよかったと考える。 ・活動曜日ごとのグループに分かれての話し合いは短時間であったが、特例使用の可能性も含めて、活発な意見交換が行われていた。
<p>配付資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レジュメ ・参加票 ・メッセージカード ・団体連絡箱の利用について ・団体連絡箱の空き状況

利用者懇談会報告(平成 30 年度 3 月) 【田無公民館】

開催日時	2019 年 3 月 2 日 (土) 10 時~12 時
会 場	視聴覚室
参加者数	利用団体 : 83 団体 利用者 : 86 人 (公民館運営審議会委員 1 人含む) 職員 : 6 人 合計 : 92 人
今回のねらい	○利用者懇談会の意義と必要性の説明 ○田無公民館使用時のお願い事項の確認 ○平成 30 年度事業報告 ○公共予約システムの変更部分の周知 ○登録更新について周知 ○中央図書館・田無公民館の耐震補強工事についての説明 ○利用者の視点で運営上の課題、施設や備品等について意見を交換し、課題を参加者全員で共有する
次 第 (形 態)	【利用者懇談会】 ①館長挨拶 ②分館長挨拶・職員自己紹介 ③利用者懇談会の趣旨説明 ④公共施設予約システムの変更・団体登録について ⑤団体登録更新・公共予約管理システム変更について ⑥施設内の共有部分であるロビー・トイレについて ⑦公民館利用者の駐車場利用権、夜間警備体制 ⑧施設備品等 ⑨1 階ロビーの活性化 ⑩田無公民館ニュースについて 質疑応答 【団体連絡箱について】 ・申請忘れ、本日欠席の団体について、協議 ・鍵の確認
公民館側からの連絡事項等	公民館施設の利用について・・・○使用時間の区分、部屋の鍵受渡 ○無断/当日キャンセル ○音だし可能な部屋 ○室内椅子・机の配置とその復元 ○団体連絡箱の施錠、鍵の管理 ○部屋退出時の点検、使用確認票の記入 ○忘れ物の保管、展示 ○施設使用登録届の更新 ○実習室及び茶道具の使用確認票 ○印刷機原紙使用料の支払い、事後清算 ○登録更新について ○公共予約システムの変更について ○公民館運営について ○平成 31 年度西東京公民館の事業方針・重点事業の確認 ○備品購入について ○防災 ○田無公民館まつりの報告と予定について

<p>主な意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●…市民 ○…公民館 	<p>●終了 10 分前には退出するように言われているが、以前、終了 15 分前に次に借りている団体の講師が入室して、いきなりプロジェクターの設営を始め、驚いたことがあった。公民館のルールはどうなっているのか。</p> <p>○平日は、前の団体からカギが返ってくるまで、ロビーでお待ちいただいている。鍵が戻っていれば、午後の使用は 12 時半から入れる。13 時に鍵を戻すために 5 分前には部屋を退出いただくようお願いしている。</p>
<p>主な意見等</p> <ul style="list-style-type: none"> ●…市民 ○…公民館 	<p>●ビデオデッキを使用しているがプラグが曲がっている。どのサークルが借りていたか台帳を見れば分かるので、注意して欲しい。</p> <p>○近年、繊細な精密機器が増えたので、よりお気をつけいただきたい。</p> <p>●夜間に活動する場合、備品の利用申請書を公民館に出しているにもかかわらず、警備さんから申請が出していないといわれたことがあった。職員と警備の連絡はどうしているのか。</p> <p>○毎日、翌日の部屋の使用予定一覧に申請されている備品を記入し、警備に渡しているが、書き忘れたことがあったかもしれない。申し訳ありません</p> <p>でした。</p> <p>●ビデオデッキを借りる申請を出したが、事務所脇に出されていなくて、警備員さんが見つからず困ったことがあったが、最近は良くなった。</p> <p>○お褒めに預かってありがとうございます。</p> <p>●公民館は大事、公民館の有料化は止めていただきたい。防災計画のパブコメで避難所は 1 人あたり 1.5 m²、東大農場は 1 人あたり 1 m²で、20 万人が避難する計画が出されているが、こんなことありえない。公民館にどれだけ備蓄品があるのかチェックしていただきたい。</p> <p>○田無公民館以外の公民館は一時滞在施設に指定されているが、田無公民館は耐震上から一時滞在施設から外れている。隣のきらっと（所管は生活文化スポーツ部）が一時滞在施設となっている。防災備品については危機管理室が管轄のため、ここで回答できる問題ではない。地震が起きたら、サークルの代表が責任を持って全員を避難させていただきたい。</p> <p>●社会教育についてのあり方はどうなのか。</p> <p>○公民館としては断固として有料化にならない形で全体の調整を図って行きたい。</p>

	<p>○2月9日に実習室利用者懇談会を行い、たくさんご意見いただきました。今日もたくさん来ていただきましてありがとうございます。備品について買える範囲で揃えたいと思います。ご意見たくさんありがとうございます。</p>
印象、反省点	<p>○中央図書館・田無公民館の耐震補強工事について、団体登録更新について、公共予約システムのシステム変更は、説明会を複数回開催し公民館だよりも掲載されたため、まったく知らないという人は少ないように感じた。</p> <p>○主に土・日・夜間に活動している団体の方々との情報の共有や学習ニーズの把握のための機会となるような工夫が必要であると感じた。</p>
配付資料	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者懇談会レジュメ

利用者懇談会報告(平成 30 年度 3 月) 【芝久保公民館】

開催日時	平成 31 年 3 月 9 日 (土) 10 時 ~12 時
参加者数	利用団体 : 79 団体 利用者 : 84 人 (公民館運営審議会委員 2 人含む) 職員 : 5 人 合計 : 89 人
今回のねらい	H31 年 1 月公共予約システムの更新以降、順調にシステムが稼働、8 時 30 分までの当日キャンセル及び当日使用における周知を図る。午後の講座への参加の呼びかけ及びまつり準備会のお知らせ
次第 (形態)	職員紹介、サークルと参加者の自己紹介、議題 1. 公民館からの報告とお知らせ 2. 公民館運営について 3. 芝久保公民館まつりの報告と準備会のお知らせ、4. 団体連絡箱の調整
主な意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 司会挨拶、館長挨拶と公民館運営についての説明、分館長と専門員の挨拶 ・ 各参加者からサークル紹介を兼ねた自己紹介 ・ 公民館からの報告 : ①公共予約システムについて ②団体登録の更新について ③平成 30 年度事業報告及び 3 月事業計画 ④平成 31 年度事業計画について (分館長、小幡) ・ 公民館運営について : ①当日キャンセル・当日使用について ②忘れ物について ③防災訓練について (分館長、小幡) ※質問 2 件 (当日朝 8 時半以降キャンセルについて他) ・ 芝久保公民館まつりの報告と準備会のお知らせ (広報伊藤さん、実行委員長林さん、小幡) <p>記録誌が昨日完成し、本日配布できた。まつりの開催日は好天に恵まれ、皆様の協力のもと無事実施できた。これからの発展のためには、地域の老若男女がふれ合い、協力していくための更なる工夫が必要。準備会は 4 月 20 日 (土)、各サークルで 10・11 月の予定表を参考に開催日を考えてきて欲しい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 質疑応答 : 公民館の有料化について、防災について、土日の書類提出について、等数件。 <p>特に、被災時における公民館の役割について細かな話が出る。館長や職員からの説明以外にも、小中学校の避難所運営協議会に関係している方々からの丁寧な実情説明もあり、知識の共有や意見交換ができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 懇談会はここまでで終了とし、団体連絡箱を希望する団体以外は退出する。

	<p>・団体連絡箱の調整（大江）</p> <p>申請期間内に申請：44 団体（継続使用希望：41、移動希望あり：2、新規希望：1）</p> <p>本日出席：31 団体、欠席：13 団体（出席のうち 4 人が複数団体の代表として出席）</p> <p>調整方法として賛成多数で、継続利用を優先し、移動希望と新規利用希望は空いた箱を使用してもらうこととなる。複数団体を兼ねた代表については、討議した結果、本年度は箱の空きが多い現状もあり認めるが、次年度以降は 1 団体 1 人の出席を厳守することとする。また、申請期間後の申請について、厳しく対応すべきという意見も出た。</p> <p>本日欠席の 13 団体と申請期間後に申請した 3 団体（本日出席）は、年度末で一度利用を終了とし、空いたところを新年度に使用してもらう。公民館からその旨連絡する。</p>
印象、反省点	<p>始めに、サークル自己紹介とお名前を一人ずつ発言していただいたことで、活動内容など他のサークルさんとの交流につながった。今後も続けていきたいと思う。午後の教育ネットワーク講座の呼びかけを行ったが、参加は一人のみであり、今後は事業への参加を周知していきたい。</p>
配付資料	<p>レジュメ、平成 30 年度芝久保公民館主催事業報告、平成 31 年度芝久保公民館学級・講座の計画（案）、第 37 回芝久保公民館まつり準備会のお知らせ</p>

利用者懇談会報告(平成 30 年度 3 月) 【谷戸公民館】

開催日時	2019 年 3 月 2 日(土) 13 時 30 分～15 時
会 場	学習室
参加者数	24 団体 30 人 職員 6 人 公運審 1 人
今回のねらい	・ 団体登録の更新と予約管理システム変更の周知。 ・ 公民館事業の紹介。
次 第 (形 態)	①館長、分館長挨拶 ②職員紹介 ③参加者自己紹介 ④公民館からのお知らせとお願い ⑤公民館運営について
公民館側からの連絡事項等	<p>①31 年度事業方針について 西東京市第 2 次総合計画及び教育計画の基本方針に則り、市及び公民館は 5 年毎に事業計画を立てている。 31 年重点課題の報告 谷戸公民館は事業方針に基づき谷戸の特徴を生かして自然と共に子どもから高齢者の方々まで交流できる事業を行う。サークルの方々のご協力を頂き地域の活性化に繋げて行きたい。</p> <p>②部屋利用について 前年に比較し、無断キャンセル及び当日キャンセル共に改善が見られた。 (資料参照)</p> <p>③設備について 開館後 35 年経過しており、老朽化に伴い建物・設備にいろいろ問題あるが、公民館としては安全確保を最優先に随時修理の予定。</p> <p>④団体登録の 5 年毎の更新と新システムへの移行について 平成 31 年 2 月末時点における団体登録更新比率は、登録団体 297 団体内未更新団体は 111 団体(その内 25 団体は廃止団体)。3 月末までの更新完了を依頼する。</p> <p>⑤公民館市民企画事業について 公民館だより 3 月 1 日第 214 号に公民館市民企画事業の詳細が掲載されている。 31 年度第 1 回目の説明会は 3 月 6 日(水) 10～12 時田無公民館で実施される。</p>

	<p>⑥第31回谷戸まつりについて 谷戸まつりは、公民館を拠点として利用団体や地域の人たちが一緒になって作り上げ地域を盛り上げるまつり。 第31回谷戸まつりの開催日、4月27日（土）、28日（日） “たすけあいバザー”の協力依頼。</p> <p>⑦31年度講座について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども、親子対象講座 ・成人対象：保育付き講座 前期「親子の元気をアップデート」 ・防災&まちづくり講座 ・現代的課題についての講座 ・芸術・教養体験講座 ・農業を知る講座（新しい参加者を中心に継続予定） ・ロビーミニ講習会：年間5回を予定 <p>⑧市民映画会 3月17日（日）13：30～ 映画“ひろしま”の上映とトークショー</p> <p>⑨団体連絡箱について 31年度申請団体は継続使用</p>
防災訓練 15時～16時半	講師：西東京消防署 ①初期消火訓練、②AEDの使い方講習
主な意見等	①備品使用申請書記載事項の簡略化をして欲しい。
印象、反省点	システム変更に伴う団体登録更新手続きも一段落し、利用者懇談会に参加した団体は多少少なく感じた。だが、公民館事業のあらましを知ってもらう良い機会となった。
配付資料	1. レジューメ 2. 公民館利用状況 3. 市民映画会チラシ 4. 市民まつりのチラシ 5. 谷戸まつりバザーのチラシ

利用者懇談会報告(平成 30 年度 3 月)【ひばりが丘公民館】

開催日時	平成 31 年 3 月 24 日(日) 10 時～11 時 30 分
会 場	集会室
参加者数	利用団体 : 60 団体 利用者 : 69 人 (公民館運営審議会委員 2 人を含む) 職員 : 8 人 (公民館長、事業係長、公民館専門員 4 人、再雇用嘱託員 2 人)
今回のねらい	<p>○利用者の視点から、運営上の課題及び施設等に意見をいただき、参加者で話し合う。</p> <p>○「平成 30 年度のひばりが丘公民館事業報告」を画像を交えて行い、公民館事業の見える化を通じて、公民館活動の理解を深めてもらう。</p> <p>○利用者同士の対話を促し、公民館、利用者がそれぞれ一方向の報告や要望にならないようお互いの意見交換の場、問題解決の場となるよう運営に配慮。</p> <p>○ひばりが丘公民館の防災対策について、利用者と職員と一緒に確認し、改善に向けて意見を出し合う。</p>
次 第 (形 態)	<p>【利用者懇談会】</p> <p>①館長挨拶 ②分館長挨拶・職員自己紹介 ③平成 30 年度事業報告 ④平成 31 年度の事業や運営について ⑤公民館よりお知らせとお願い ⑥質疑応答 ⑦その他</p> <p>【団体連絡箱調整会】</p>
公民館側からの連絡事項等	<p>○団体登録更新と公共施設予約管理システム入替の報告 ○空いている部屋の当日予約について ○部屋の空き時間の有効利用「特例使用」について</p> <p>○修繕等の報告 ○部屋の使用について ○部屋のキャンセルについて</p> <p>○備品を使用する場合について ○土日祝日、夜間の印刷機の利用について ○湯沸室の利用について ○公民館前の路上喫煙及び夜間の話し声について ○公民館前の路上駐車について ○電気・ガス・水道の節約について</p> <p>○団体連絡箱の鍵部分の状態確認について</p>

主な意見等

Q 特例使用は今までどのくらい団体があったのか。

A 今年度の実績はない。昨年度までは2団体がお互いに協力し合っ
て制度を利用していたが、一方の都合でなくなった。

Q 連絡箱の鍵の破損箇所調査について、団体が立ち会う必要がある
のか。

A 立ち会う必要はない。

Q 新しいシステムになり、たとえば月1回しか使わない団体が、4
回分申し込んで抽選結果2回分当たって1回分はキャンセルすること
になるが、キャンセルが増えているか数字をつかんでいるか。

A 数字として把握はしていないが、旧システムでは使わない部屋は
キャンセルの手続きをしないとキャンセルできなかったが、新しいシ
ステムでは、確定期間に確定作業をしなければ自動的にキャンセルと
なり流れるようになったので以前より随時予約は取りやすくなってい
ると考える。

Q パソコンで予約ができる時間帯は。

A 抽選申し込みについては24時間いつ申込みをしても平等に8日に
機械抽選となる。利用希望月の2ヵ月前の1日の深夜の0時から24時
間、7日の深夜11時59分までいつでも抽選申し込みできる。抽選結果
が出て、実際に使う日時は予約の確定をして、使わない日時は、その
まま確定作業をしなければ、自動キャンセルになる。随時予約の受付
開始は、利用希望月の2ヵ月前の16日の9時から、そのあとは24時
間予約できる。

Q 講座室3は避難経路が窓からとなっているが、窓の外に自転車か
びっしり置いてある。万が一の火事の時どうしたらいいのか、改善し
た方がいい。

A 火元が廊下側で、部屋に掃出し口の扉がない場合、窓から逃げる
避難経路になっているのに駐輪自転車があるということについて、善
処する。

Q ひばりが丘フェスティバル実行委員会は土日開催で、毎回同じ
人が出ざるを得ない。公民館職員もわざわざ土日に出てきている。サ
ークル活動は平日に実施しているのにどうしてか疑問を感じる。

A フェスティバル実行委員会の反省会は4月にあるので、その中で
平日がいいか土日が確実に集まれるのか話し合いを持っていただきたい。

Q フェスティバル実行委員会は例として出したのであり、懇談会、
連絡箱調整会は土日にやっているイメージがある。なぜなのか。

	<p>A 公民館は夜間利用者もいてその人たちは昼間が参加しづらい。多くの皆さんが参加いただけるよう各館は利用者懇談会、準備会等を土日に設定している。たくさんの方が参加できることが主旨なのでご理解ご協力願いたい。</p> <p>Q 「公民館からのお願い」の中に、路上喫煙・夜間の話し声について近隣へのご配慮をと書いてあり、みんなで気をつけていきたいと思っているが、その辺の苦情はあるのか。</p> <p>A 団地の通路は公道ではないので、駐車については自治会と相談し、ご協力という形で注意を促すことになっている。以前、ある所から、夜間の活動を終えテンションが高くなった団体の話し声がうるさいとの指摘があった。その都度、警備員や職員が注意を促し近隣に配慮をするよう繰り返し伝えてきたので、現在クレームはない。</p>
その他	<p>防災事業について、資料5「災害が発生したら…」に基づき、各団体で避難経路・消火器の場所の確認や災害時に備えた事前の話合いをしておくことが必要なこと、避難場所である中原小の建替中の仮校舎の場所の紹介等を伝えた。</p>
団体連絡箱調整会	<p>団体連絡箱について、調整会に参加した使用希望団体についてはすべて決定した。調整会欠席団体で使用希望団体については、空いている連絡箱に限って、4月2日より再度申請を受付け調整することとした。</p>
印象、反省点ほか	<p>避難経路の窓の下に駐輪自転車があり避難しにくいという指摘をいただけたことはよかった。すぐにカラーコーンとポールで駐輪しないよう対応した。</p> <p>連絡箱の空きの再申請を受付け希望団体すべてが利用できることとなった。</p>
配付資料	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成30年度3月 ひばりが丘公民館利用者懇談会 次第 2. 平成30年度 ひばりが丘公民館 事業報告 3. 空いている部屋の当日予約について 4. ひばりが丘公民館の「特例使用」について 5. 災害が発生したら… 6. アンケート用紙

利用者懇談会報告(平成 30 年度 3 月)【保谷駅前公民館】

開催日時	平成 31 年 3 月 23 日(土)10 時~12 時
会 場	5 階 集会室
参加者数	54 団体、64 人 (公民館運営審議会委員 3 人を含む)
今回のねらい	日頃公民館で活動する団体が一堂に会し、お互いの存在を知り、公民館や団体同士の情報交換の機会とする。自分たちの会のあり方について、改めて見直す機会とする。 団体連絡箱の調整会も兼ねる。
次 第 (形 態)	①公民館からの報告とお知らせ ②新公共予約システムの変更点について再確認 ③保谷駅前公民館開館 10 周年事業の紹介 ④団体連絡箱調整会
公民館側からの連絡事項等	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者懇談会とは ・職員紹介と平成 30 年度の担当主催事業の報告 ・第 11 回駅前フェスタ参加のお願い ・西東京市公共予約システムの変更について ・西東京市の公民館利用案内について ・西東京市の公民館つどう・まなぶ・つなぐ ・保谷駅前公民館開館 10 周年記念事業の紹介
主な意見等	<p>【西東京市公共予約システムの変更について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「予約の確認」をしないといけないのがわずらわしい。そのような操作をしなくてもよいようにできないのか。 ⇒ 今回のシステムの変更により、市内公共施設すべての予約システムが共通となった。中には有料の施設もあり、使用の意思確認のために「予約の確認」という操作を設けている。 ・抽選申込みが毎月 7 日まで、確認期間が 14 日までということで、抽選に外れてから随時予約まで 1 週間も空くのが心もとない。もう少しこの期間を短くできないのか。 ⇒ 今回のシステム変更により、市内全ての予約システムが共通化された。公民館だけの変更は難しい。 <p>【市民からの意見、要望】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの位置を動かしたい ⇒ ピアノジャッキの購入も検討したが、財政の状況的に購入は難しい。ピアノの位置については、市民による話し合いの中で、「動かさない」と決定している。 ・集会室でコーラスの活動中、夜 7 時 45 分になると図書館の閉館のアナウンスが部屋の中に流れるのが、練習の支障となっている。 ⇒ 早急に対応することを約束する。

印象、反省点 ほか	連絡箱の調整会も兼ねていたので、多くの団体の参加があった。新しい公共予約システムが始動し3か月ほど経ったこの時期に、改めて使用状況を聞き、市民の疑問に答えることができた。今年度は保谷駅前公民館開館10周年の節目の年であり、この機会に記念事業について利用団体と情報共有したことで、保谷駅前公民館のこれまでの10年、そしてこれからの10年の歩みを全体で思い描くことができた。
配付資料	利用者懇談会次第、新予約システム説明資料（だより写し）、西東京市の公民館利用案内「つどう・まなぶ・つながる」